

科 目 名	教育とコンピュータ				
配 当 学 年	4 年	必修・選択	選択	CAP制	対象
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	曾我 聡起		単位認定責任者	曾我 聡起	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容					
授業科目の概要	21世紀を迎え、我々を取り巻く ICT環境は、過去に例を見ないほどの変化を遂げた。タブレット端末などの携帯情報端末やAR/VRや AIなど、20世紀には教育への利用が考えられなかったツールがある。こうしたツールの利活用を教育へのアイデアに繋がるような知見を共有する。				
授業科目の到達目標	1. 教育におけるICT活用の状況が説明できる。 2. 学校教育におけるICT活用の状況が説明できる。 3. 効果的なICT活用法を説明できる。 4. 授業におけるICT活用による指導を想像できる。 5. ICT活用の課題を説明できる。				
学修成果評価項目 (%) および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	70 %	レポート (40) 小テスト (30)		
	倫理観	10 %	レポート (10)		
	主体性	10 %	アクティビティ (10)		
	論理性	%			
	国際感覚	%			
	協調性	10 %	アクティビティ (10)		
	創造力	%			
責任感	%				
授業の展開					
1.	ガイダンス「教育とコンピュータ」について、受講方法について (Moodle の使い方) 情報化の進展と教育の情報化 (e ラーニング) (担当 今井)				
2.	コロナから見えるこれからの教育手法				
3.	デューイの教育論				
4.	デジタルネイティブ時代と教育の目的				
5.	モチベーション				
6.	学習のプロセスと学習空間				
7.	生徒が夢中になる学習法ーチャレンジ設定型学習				
8.	そもそも教育の目的とは (担当 曾我)				
9.	アクセスの確保とオンライン学習				
10.	想像型構築				
11.	コーディング				
12.	テクノロジーの活用法ーVR 実験				
13.	教育革命ーモバイルテクノロジーと AI				
14.	教育の未来ーAR				
15.	教育の再配線を考える (まとめ)				

授業外学修について	授業外学修 1. 授業をより効果的に受講するための予習課題を課す 2. 授業の確認と定着を図る課題を課す				
教科書	デジタル教科書配布				
参考文献	必要に応じて授業時に適宜指示する				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	○	○	○	×
成績評価の割合	0 %	30 %	50 %	20 %	0 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	本授業科目独自のLMS（Moodle）を用いて授業中のとりくみをアクティビティとして課題として与え、その他のテストやレポート点に反映することがある。				

（教育とコンピュータ）